

# 城下町・岩槻の 歴史とまちづくり

人形作りが盛んなまちとして知られる岩槻は、室町時代に築城された岩槻城の城下町として発展してきました。今号の特集では、古いまちなみが残る一方で、新しい施設ができ、生まれ変わりつつある岩槻の、歴史とまちづくりについてご紹介します。

## 江戸時代には宿場町として発展した岩槻

岩槻のシンボルとも言える岩槻城址公園。室町時代の後半に、かつてこの地にあった岩槻城が築城されたことで城下町となりました。江戸時代に日光東照宮が築かれると、将軍が日光に参る際に通る「日光御成道」が整備され、ここ岩槻は宿場町として栄え、商業も振興しました。

人形作りは、日光東照宮の造営に携わった工匠が伝えたという説もありますが、その始まりは明らかではありません。周辺に箆など桐細工の産地があり、人形の材料となる桐の粉が手に入りやすかったことも関係しているようです。

2020年2月には、旧岩槻市役所跡地に「さいたま市岩槻人形博物館」がオープン。岩槻でつくられた人形だけでなく、歴史的、美術的に価値のある幅広いジャンルの人形や人形作りに関する資料などを収集、展示しています。岩槻の新たなシンボルとして注目されている施設です。

この特集記事では、岩槻の歴史と岩槻での新たなまちづくりについてご紹介していきます。



### 『見せたい!ワタシの岩槻 街歩きガイドブック #iwatsuki』 vol.2 配付中



岩槻の魅力や観光スポットを発信するガイドブック。グルメ情報や岩槻の人形産業なども紹介しています。マップも掲載していますので、まち歩きにぜひご活用ください。冊子は、各区役所情報公開コーナー、公民館などの公共施設、さいたま市各観光案内所などで配布しています。